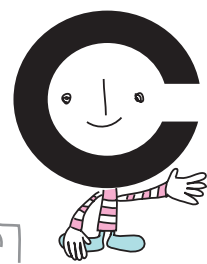


## 施設リスト



私たちは眼科専門医として、レーシックを行う施設として、患者様の生涯の目の健康と向き合っていくことを責務と考えています。



## 安心の条件

- ① お互いが信頼し、紹介し合える医師またはクリニックである
- ② 執刀医が「眼科専門医」である
- ③ 執刀医が、日本眼科学会の指定する屈折矯正手術講習会、および使用機器の製造業者が実施する講習会の両者を受講し、修了証を得ている
- ④ 執刀医および担当医が、レーシック手術だけでなく眼科診療一般の知識を持ち対応ができる
- ⑤ 術前検査と適応の見極め、手術に至るまでのプロセスを、時間をかけて丁寧に正確に行なっている
- ⑥ 術後のフォローアップ（定期健診や合併症の治療）を何度でもきちんと行う（患者の目の状態につき、最後まで、生涯におけるフォローを行う）
- ⑦ 原則として、厚生労働省が認可したレーザーをはじめとする医療機器を使用している
- ⑧ 日本眼科学会によるエキシマレーザー屈折矯正手術のガイドラインを順守している



<http://www.safety-lasik.net/>

# 安心レーシック

## ニュースレター安心LASIK NETWORK

# LASIK WORK

眼科の先生も  
受けているレーシック。  
安心と安全には  
理由があります。



## [ Topics レーシック —うそ?ホント?— part1 ]

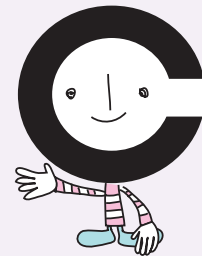
レーザーで近視を治療する方法が開発されてから20年以上が過ぎました。レーシックを受ける人の数も増え、世界では年間約400万件、日本でも30~40万件のレーシックが行われるようになってきました。それにとともに、レーシック後の不調を訴える例や、術後のドライアイ等のケアがきちんとなされていない例が問題となっています。中には「レーシック難民」と称する人々が不適切な治療により窮地に追い込まれているという話題まで出てきています。

レーシック自体は確立された治療法ですが、術前の適応検査や手術データ、術後のフォローアップなど、大事なポイントがいくつかあります。日本眼科学会のガイドラインを順守することも重要です。

また、「大切な目の治療である」ということも皆様に認識していただきたい点です。

今号と次号の2刊連載で、レーシックの噂について安心LASIKネットワークの眼科専門医が解説します。

最近、ネットでよく見る  
レーシックにまつわる疑問・情報について、  
ネットワークの眼科専門医の先生方に回答いただきました。



## Q1 レーシックは角膜を切るので、視力の質が悪くなる、見え方が低下する、 というのは本当ですか？

**A** レーシック手術がスタートした初期の頃の一部の治療では、薄暗い場所での見づらさ（コントラスト視力の低下）や、夜間の対向車のヘッドライトの光がにじんで見えるグレアや、街灯の明かりにかさがかったように見えるハローといった視力の質の低下を招くことがありました。

レーシックの臨床導入から20年が経過し、技術革新も行われて、今ではほとんど解決されています。ただし、暗い所で瞳孔が大きく開く人や、近視が強くて矯正量の多い人、角膜の厚さが薄いなどの理由でレーザーの照射径を小さくした場合には、起こる可能性がありますので、術前検査における暗所時瞳孔径のチェックは非常に大切です。眼の状態と矯正量について、知識の豊富な眼科専門医のもとでよく

相談をされて手術を受けることが、良好な視力の実現にとって重要といえます。

また、手術中に目が動いてレーザー照射がずれてしまうことにより発生した不正な乱視も、今では目の動きをレーザーが追う追尾システムの開発により、解決されています。

コンタクトレンズやメガネでも100%完全な状態で見ていることはほとんどないといっしょでしょう。現在の見え方と、手術後の見え方を予測して比べるのは困難ですが、裸眼で見ることの快適さや、目を動かしても焦点がずれないクリアな視界を得られることで、レーシックは普及しています。担当医とご自身の目の状態をよく相談なさってください。

回答：吉野 健一（吉野眼科クリニック）

## Q2 レーシックで遠くが見えるようになると、近くが見えなくなりますか？

**A** 人間の目には調節力というオートフォーカス機能がそなわっているため、30歳代までの人であれば、レーシックで近視を治して遠くが見えるようになっても近くが見えなくなることはありません。コンタクトレンズや眼鏡をかけても近くが見にくくならないことと同じです。

40歳以降の年齢では、調節力が弱くなって、近くが見えにくくなる老眼（老視）の症状がでてきます。裸眼で近くがよくみえていると感じている近視では、レーシック後

には近くが裸眼で見にくくなるということが起こり得ます。これは眼鏡やコンタクトレンズで同じ状態にしても同じですので、レーシックによって老視がすすむということではありません。

老眼になっていなくても、度の弱い眼鏡をかけて、調節をさぼっているような近視の方だと、手術直後は近くがみにくいかもしれませんが、2週間くらいで慣れてきます。

すなわち、老眼の方は目にあった近用眼鏡をかければ見えます。老眼年齢より若い方の場合には目が慣れてきて見えるようになります。

いずれも、手術の前によく担当医と相談されることが大切です。

回答：稗田 牧（バプテスト眼科クリニック）

## Q3 レーシックをすると、 光がまぶしく見えるようになる というのは本当ですか？

**A** 個人差がありますが、手術直後に眩しさを感じる方がいらっしゃいます。ただ、眩しさといってもその表現と感じ方は多様で、ドライアイによるものから、収差（光の微細なずれ）や過敏によるもの、ハロ、グレアをいうものなど、いろいろです。要因もさまざまですが、ほとんどは角膜の状態が安定してくると同時に症状が軽減し、またその状態に慣れて、多くの方は3～6ヶ月ほどで気にならなくなります。最終的にはコンタクトレンズよりクリアに見えるとおっしゃる方が多いので、感じ方に個人差があるようです。

回答：海谷 忠良（海谷眼科）

## 安心 LASIK ネットワーク編の 本が発刊されました！



「安心レーシック完全ガイド  
～レーシックで後悔しない  
ための必読書～」

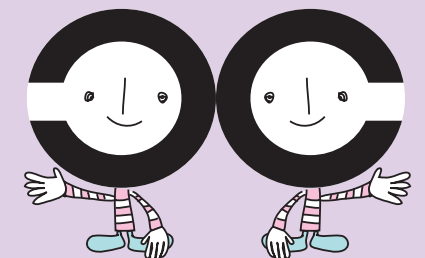
レーシックはテクノロジーの進歩で  
安全性と満足度のきわめて高い

手術となり、世界でメガネ・コンタクトレンズに並ぶ第三の屈折矯正の選択肢となっています。多くの方が快適に過ごされている一方で、一部でレーシックにまつわるトラブルも話題となっています。メガネやコンタクトレンズをなくして裸眼で生活したいと考えている人に、手術を受ける前にぜひ読んでいただきたい、レーシックを安全に受けるためのガイド本です。レーシックの宣伝ではなく、正しい知識を得てほしいという眼科医の思いで制作しました。ぜひご活用ください！

レーシックを受ける前に下記 10 項目を確認しましょう。

## 10 のチェックリスト！

- 視能訓練士などの眼科検査スタッフが十分な検査を行い、その後、眼科専門医による診察を受け、検査内容と結果について医師からきちんと説明を受けましたか？
- 高度近視の人や、角膜の厚さが薄い人の場合、レーシック以外の術式も選択肢として検討しましたか？
- 術前検査とカウンセリングに十分な時間をもちましたか？レーシックの治療について、十分理解できましたか？
- 年齢やライフスタイル、手術の目的などを考慮した目標視力の設定を、医師と十分に話し合う時間をもちましたか？
- 手術の合併症やデメリットに対する説明を受けましたか？
- はじめての適応検査の後、手術までに一定の日数を空けていますか？
- 手術後、短期のみならず長期にわたる定期検査を行う予定がありますか？
- 執刀医を把握できる診察でしたか？ 担当医師、執刀医は「眼科専門医」でしたか？
- あなたが不安に思うことを、きちんと質問できましたか？ 医師はそれにきちんと説明してくれましたか？
- 術後に問題があった場合には、最後まできちんと治療をすることが期待できる施設ですか？



……………「10 のチェックリスト!」「安心の条件」もご参考に! ……………

詳しくはwebで [安心レーシック](#)

[検索](#)